

# 経営比較分析表／団体全体（令和元年度決算）

兵庫県 神戸市

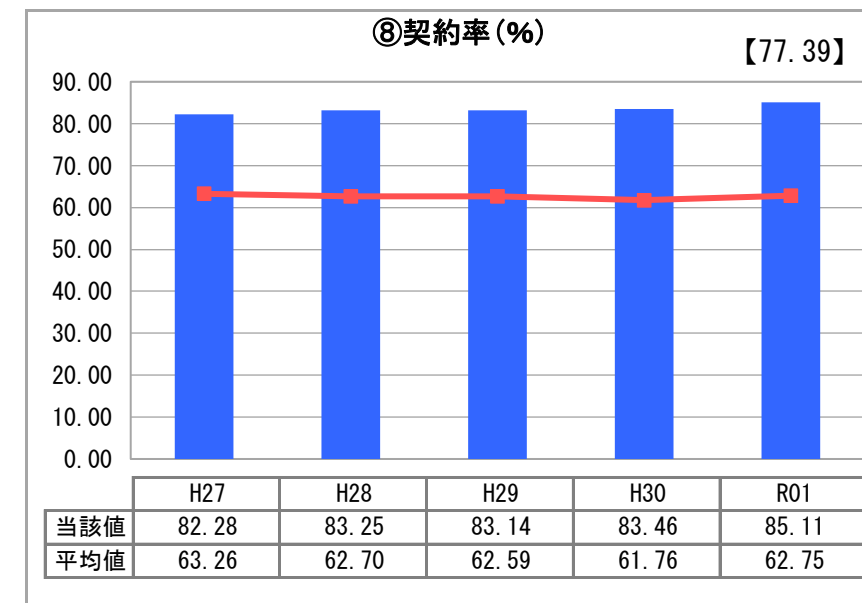
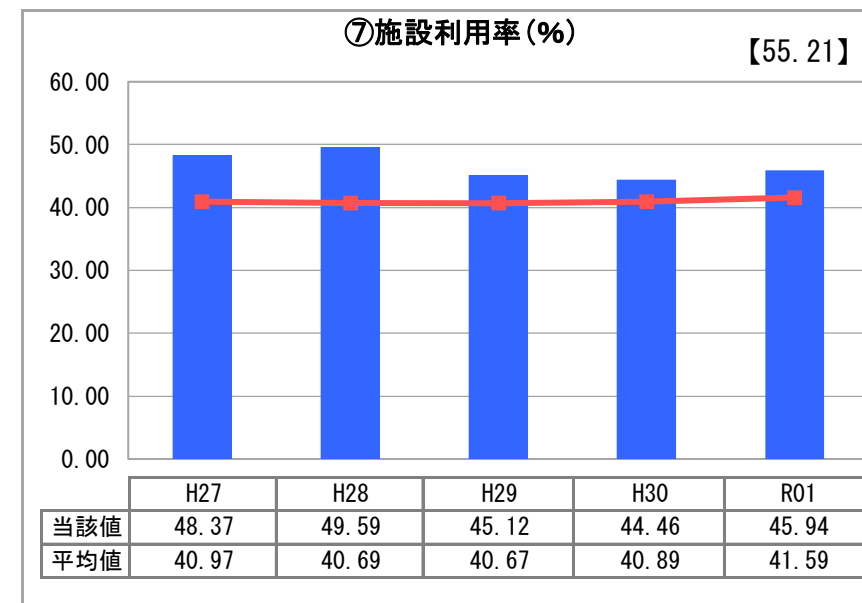
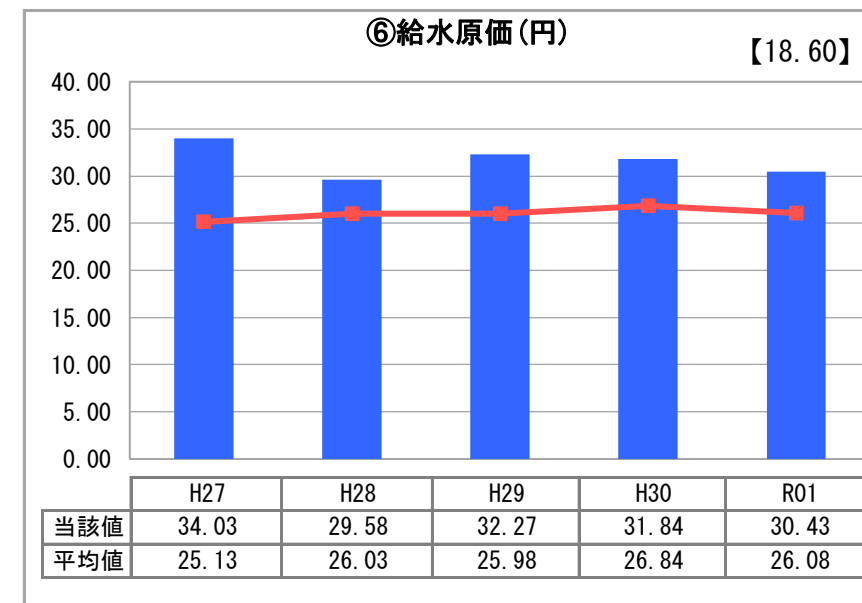
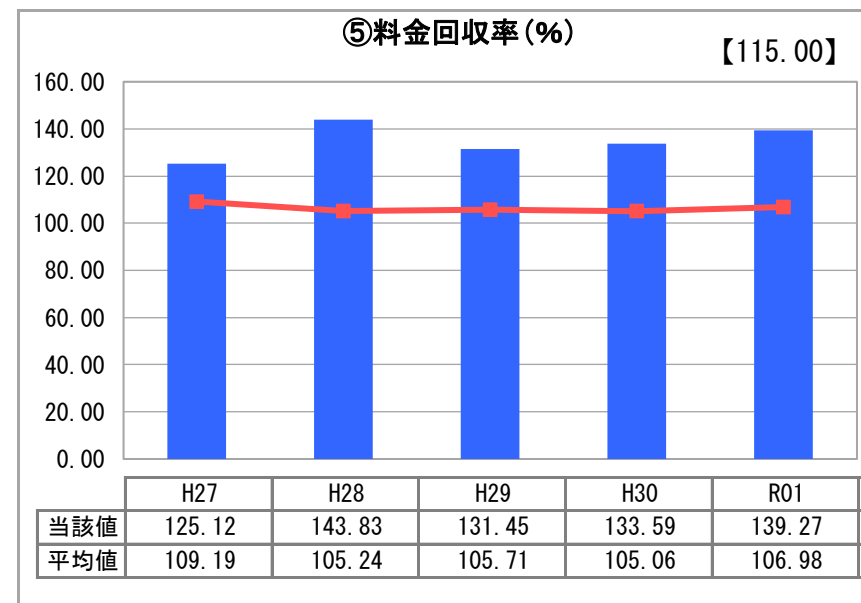
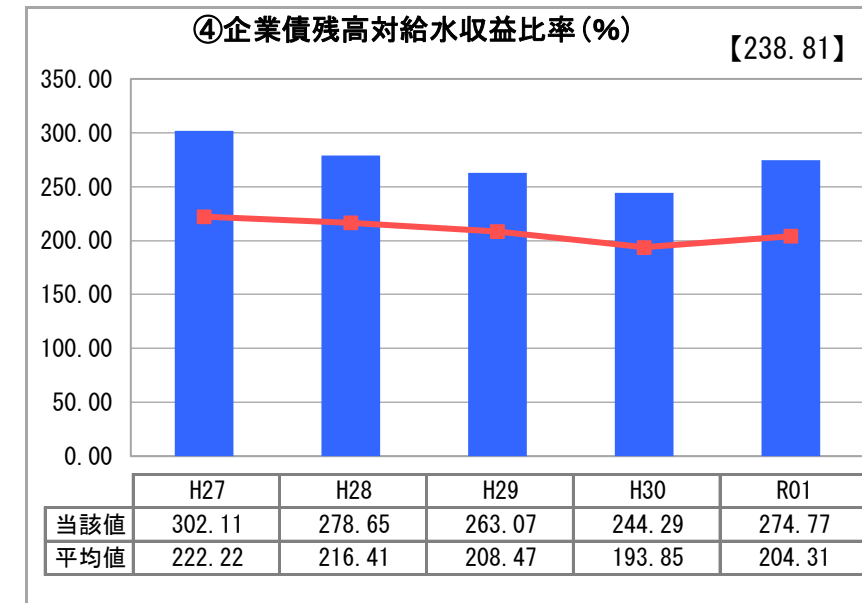
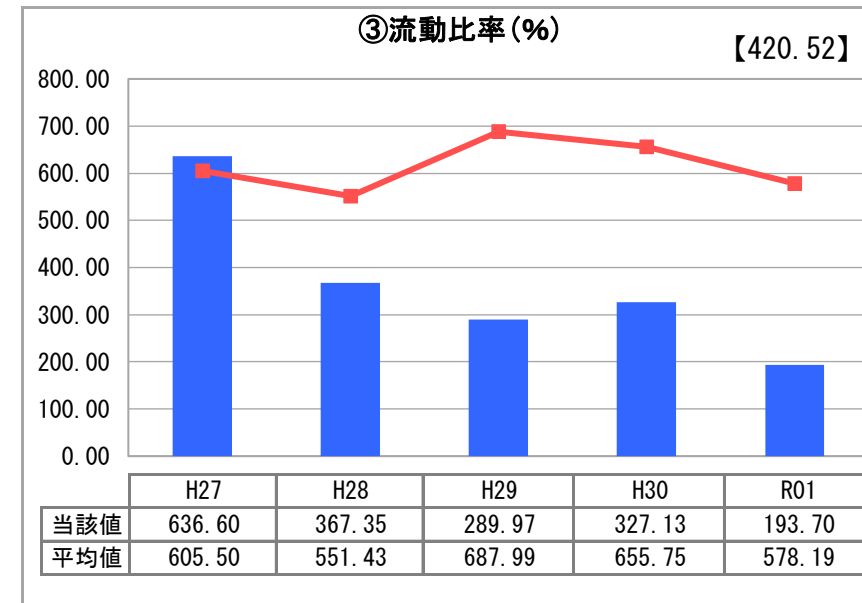
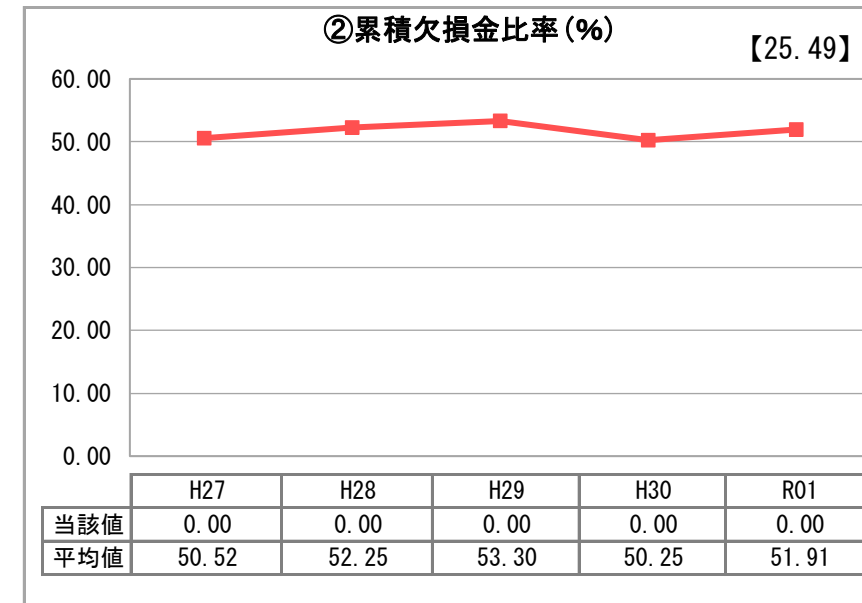
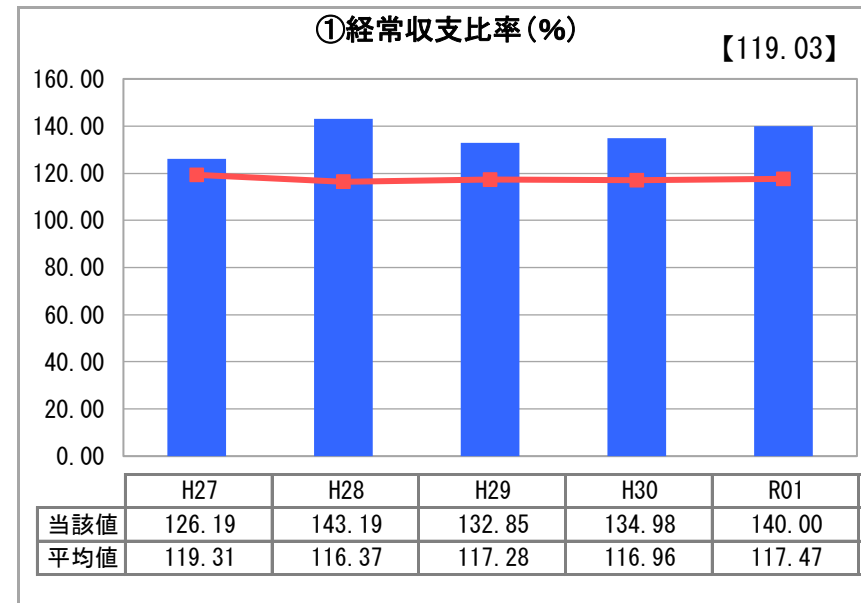
【事業概要】

業務名 法適用	業種名 工業用水道事業	現在配水能力(合計)(m <sup>3</sup> /日) 106,000	類似団体区分 中規模	施設数 1	1日平均配水量(m <sup>3</sup> ) 48,697
資金不足比率(%) -	自己資本構成比率(%) 69.1	給水先事業所数 71	契約水量(m <sup>3</sup> /日) 90,216	管理者の情報 自治体職員	

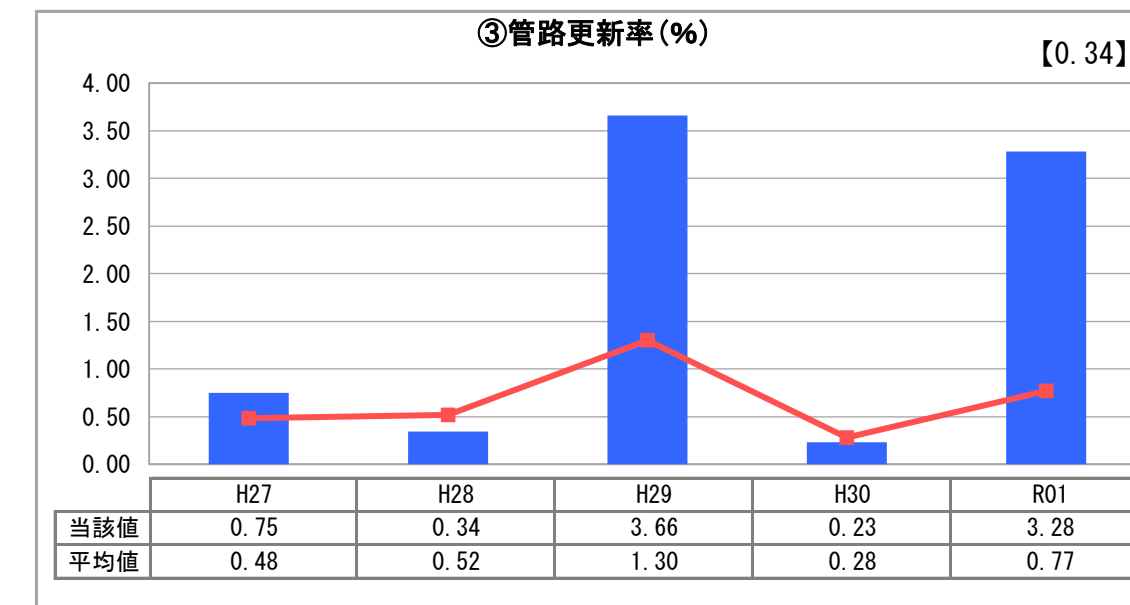
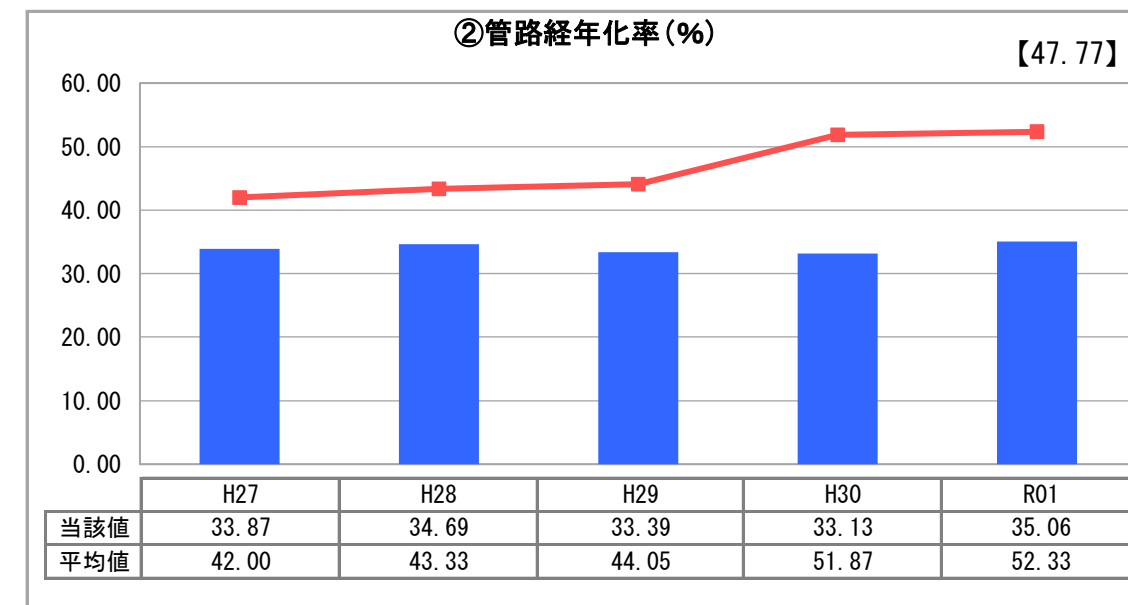
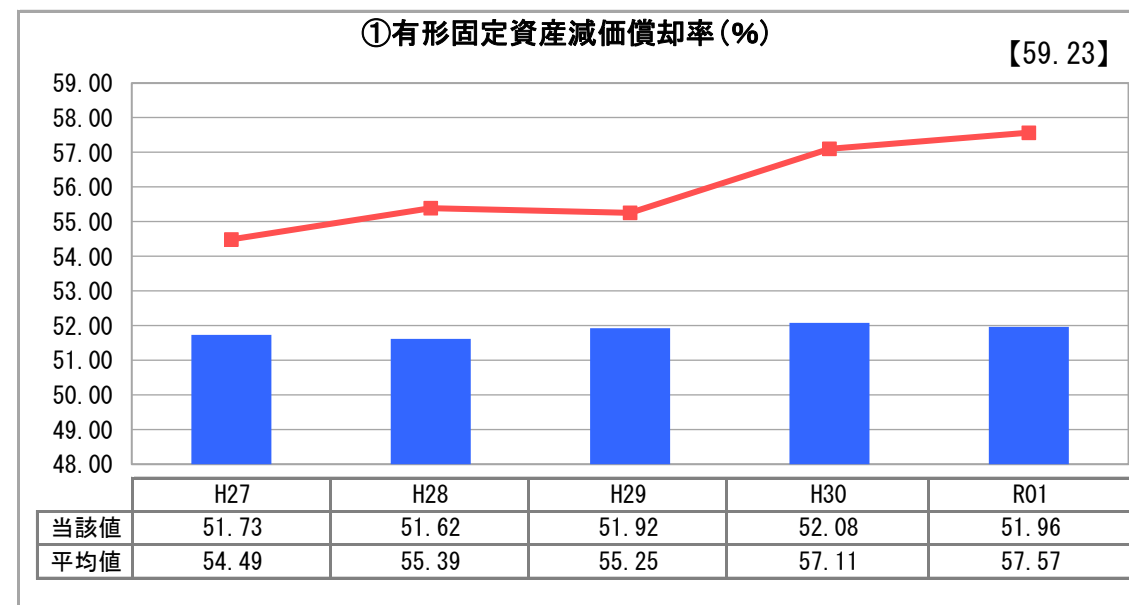
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

③流動比率について、100%を超えているため支払能力はあるが、前年度比較で減少している。これは更新投資の増加による流動負債の増加が原因であると考えられる。  
 ⑤料金回収率は100%を超えており、類似団体の平均値と比較しても高い値となっている。  
 ④企業債残高対給水収益比率は、令和元年度に更新投資の増加に対応するため企業債を発行しており値が上昇している。令和2年度以降も更新投資の資金が必要であることから企業債残高は増加する見込みである。  
 ②累積欠損金比率は0%となっているが、類似団体との比較では、①経常収支比率、⑦施設利用率、⑧契約率ともに高く、前年度よりも上昇していることから、事業運営は安定していると考えている。引き続き、経営基盤の強化に努める。

### 2. 老朽化の状況について

類似団体との比較では、①有形固定資産減価償却率、②管路経年化率は低くなっている。これは、計画的な更新に努めてきたことから法定耐用年数を上回る資産が少ないためである。  
 また、③管路更新率については、平成24年度から「第3次改築」として、配水管の更新に取り組んでおり、引き続き、計画的な更新に努めていく。

## 全体総括

水需要の合理化や経年施設の更新を見据えつつ、引き続き、持続的・効率的な安定給水と経営基盤の強化に努めていく。